

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	株式会社サーテックカリヤ大津崎第		階数	地上3F
建設地	愛知県刈谷市小垣江町大津崎1-45		構造	S造
用途地域	工業地域、特別協業地区、法第22条		平均居住人員	76人
気候区分	6地域		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月	予定	評価の実施日	2017年12月21日
敷地面積	2,918 m ²		作成者	板倉設計
建築面積	1,494 m ²		確認日	2017年12月21日
延床面積	3,799 m ²		確認者	板倉設計



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 重点項目

①地球温暖化への配慮

3.8

③敷地内の緑化

2.0

外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積) **26.5%**

建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積) **0.0%**

②資源の有効活用

3.0

④地域材の活用

1.0

<外装材に使用した地域性のある材料> なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用建物全体・共用部(廊下・宿泊部) 住居・宿泊部分						
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.8
Q1 室内環境										-
1 音環境										-
1.1 室内騒音レベル										-
1.2 遮音										-
1 開口部遮音性能										-
2 界壁遮音性能										-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										-
1.3 吸音										-
2 温熱環境										-
2.1 室温制御										-
1 室温										-
2 外皮性能										-
3 ソーン別制御性										-
2.2 湿度制御										-
2.3 空調方式										-
3 光・視環境										-
3.1 昼光利用										-
1 昼光率										-
2 方位別開口										-
3 昼光利用設備										-
3.2 グレア対策										-
1 昼光制御										-
3.3 照度										-
3.4 照明制御										-
4 空気環境										-
4.1 発生源対策										-
1 化学汚染物質										-
4.2 換気										-
1 換気量										-
2 自然換気性能										-
3 取り入れ外気への配慮										-
4.3 運用管理										-
1 CO ₂ の監視										-
2 喫煙の制御										-
Q2 サービス性能						0.43				3.3
1 機能性										-
1.1 機能性・使いやすさ										-
1 広さ・収納性										-
2 高度情報通信設備対応										-
3 バリアフリー計画	独自									-
1.2 心理性・快適性										-
1 広さ感・景観 (天井高)										-
2 リフレッシュベース										-
3 内装計画										-
1.3 維持管理										-
1 維持管理に配慮した設計										-
2 維持管理用機能の確保										-
2 耐用性・信頼性										-
2.1 耐震・免震・制震・制振						2.9	0.52			2.9
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.48			-
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.80			-
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.20			-
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.33			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②					3.0	0.23			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.09			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.08			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						5.0	0.15			-
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.23			-
2.4 信頼性						2.7	0.19			-
1 空調・換気設備						-	-			-
2 給排水・衛生設備						3.0	0.25			-
3 電気設備						3.0	0.25			-
4 機械・配管支持方法						3.0	0.25			-
5 通信・情報設備						2.0	0.25			-

給水=VP(B)、給湯=VP(B)、通気=VP(A)、Eは不使用。

3 対応性・更新性				3.6	0.48				3.6
3.1 空間のゆとり				4.6	0.31				
1 階高のゆとり			最低の階高=6.3m	5.0	0.60				
2 空間の形状・自由さ			壁長さ比率=0.125	4.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31				
3.3 設備の更新性				3.5	0.38				
1 空調配管の更新性		②		-	-				
2 給排水管の更新性				3.0	0.20				
3 電気配線の更新性			ケーブルラックを使用し、露出配線としている。	5.0	0.13				
4 通信配線の更新性			ケーブルラックを使用し、露出配線としている。	5.0	0.13				
5 設備機器の更新性				3.0	0.27				
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.27				
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57				2.5
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30				2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性									3.5
LR1 エネルギー					0.40				4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制					-				-
2 自然エネルギー利用					-				-
3 設備システムの高効率化			BEI _m =0.57	5.0	0.60				5.0
4 効率的運用				3.0	0.40				3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00				
4.1 モニタリング				3.0	0.50				
4.2 運用管理体制				3.0	0.50				
集合住宅の評価									
4.1 モニタリング									
4.2 運用管理体制									
LR2 資源・マテリアル					0.30				2.8
1 水資源保護				3.4	0.15				3.4
1.1 節水			自動水栓のほか、節水型便器を使用している。	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67				
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.63				2.7
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.21				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	1.0	0.21				
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。	4.0	0.25				
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.7	0.22				2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避				2.6	0.68				
1 消火剤				2.0	0.33				
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33				
3 冷媒				3.0	0.33				
LR3 敷地外環境					0.30				3.2
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率=80%	3.8	0.33				3.8
2 地域環境への配慮				2.7	0.33				2.7
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.0	0.25				
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25				
3 交通負荷抑制		独自		1.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25				
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33				3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40				
1 騒音		独自		3.0	1.00				
2 振動		独自		-	-				
3 悪臭				-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40				
1 風害の抑制				3.0	0.70				
2 砂塵の抑制				-	-				
3 日照障害の抑制				3.0	0.30				
3.3 光害の抑制				3.7	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうらみに漏れる光への対策			光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告を設置しない。	4.0	0.70				
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30				

重点項目スコアシート

実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

株式会社サーテックカリヤ大津崎第四工場

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
② 資源の有効活用				3.0
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:26.5%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 株式会社サーテックカリヤ:

計画上の配慮事項	
総合	工業地域に建つ新設工場として、建築物の建築物の環境品質を高めると同時に、周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画している。
Q1 室内環境	生産エリアの工場用途のため、対象外とした。
Q2 サービス性能	①給水=VP(B)、給湯=VP(B)、通気=VP(A)、Eは不使用。 ②最低の階高=6.3m、壁長さ比率=0.125 ③電気及び通信の配線はケーブルラックを使用し、露出配線としている。
Q3 室外環境(敷地内)	①外構緑化指数=26.58% ②空地率=48.81%、緑被率・水被率・中高木の水平投影面積率=13.8%
LR1 エネルギー	①BEIm=0.57
LR2 資源・マテリアル	①自動水栓のほか、節水型便器を使用している。 ②LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。
LR3 敷地外環境	①ライフサイクルCO2排出率=80% ②卓越風向に対する建築物の見付面積比=49.4% ③隣棟間隔指標Rw=0.34 ④地表面対策面積率=16.27% ⑤光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告は設置しない。
その他	特になし。